Eddie Would Go!　エディならきっとやるよ

彩 都 の 丘 学 園
校長　桑野　啓子

５月１１日より分散登校が始まりました。保護者さん１名同伴のもと１年生には５人ずつの「入学オリエンテーション」を行いました。複数日に分けてでしたが、正門で副校長とともに２０６名の新入生、保護者のみなさんと顔をあわせて、「おはようございます」「さようなら」「ありがとうございました」とあいさつを交わすことができて本当に嬉しかったです。また２～９年生の９名以下の分散登校も始まりました。登校する１３８４名の学園の児童生徒のみなさんと「おはようございます」「こんにちは」下校するみなさんとは「さようなら」とあいさつを交わしました。互いにマスク姿ではありますが、しっかりとアイコンタクトをしながら、気持ちよくあいさつが交わせたように思っています。全面再開ではないものの、臨時休校を経て、２０２０年度がようやくはじめられた気持ちがして、しみじみとありがたいなぁと思いました。

５月２５日からは９年生の２分散登校実施、６月１日からはすべての学年での２分散登校実施の予定となっています。全面再開までどれぐらいの時間が必要なのかはまだ見えませんが、たとえ限られた条件の中でも、ゆっくりと互いのつながりをつくっていきたいと考えます。健康に日々を過ごしていける幸せをかみしめたいと思います。この間保護者、地域のみなさんには、登下校時の見守りやオンラインの取組に多大なるご理解とご協力をいただきまして、心から感謝しています。子どもたちの安全や安心のために頂戴するお声にも感謝しています。あわてずにあせらずに、緩まずに、引き続きみんなでこころを合わせ、力をあわせていけますよう、よろしくお願いします。

タイトルの"Eddie Would Go"は、ハワイの偉大なサーファーであり、ライフセーバーだったエディ アイカウにちなんだ言葉だそうです。船が転覆した際に助けを呼びに、夜の海にサーフボードひとつででかけていったエディ。たまたま民間機に見つけられて船は救助されたのですが、エディは消息不明となったそうです。危険を恐れることなく、仲間のために行動したエディの生き方を称え、何かに迷ったときや困難を前にしたとき、ハワイの人々は「エディならきっとやるよ」と励ますようにこの言葉を口にするそうです。全面再開を願いながら、これからの日々もみんなでゆっくりと励ましあって進んでいきたいと考えております。そんなタイミングで出会ったこの言葉が心に響き、励まされた気持ちがしました。６月も引き続き子どもたちへのご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いします。